



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〈第四六二号〉

啓蟄

三月五日

初午大祭

伊勢の初午は三月初めの午の日。今年は九日が初午となります。伊勢市楠部町の松尾観音寺では、八日に宵宮、九日に初午本祭が行われます。両日はご本尊の十一面観音に厄を祓ってもらおうと、厄年をはじめ、善男善女がお参りします。

初午は二月最初の午の日に稲荷神社などで行われることが一般的ですが、伊勢では旧暦の二月にあたる三月の最初の午の日に行われるのが慣例です。また松尾観音寺によれば、古来より厄年に関係なく、老若男女が一年の厄を祓う日として「観音詣で」、「松尾詣で」をするのが風習とされています。

松尾観音寺は、ご本尊の十一面観音を奈良時代の行基という高僧が自作したという由緒をもつ古刹。開山された一三〇〇年前から「災除開運」の寺として信仰を集めていましたが、「松尾詣で」といわれるまでに、厄祓いの人々が参るようになったのは、この寺に伝わる龍神伝説によるものです。

境内の「二つ池」には雄・雌二匹の龍が棲み、寺が火災に見舞われた際には、この二匹の龍が姿を現し、ご本尊を火災から守ったという話が伝わります。このことから、火災という大変な災難から無事逃れられた観音さまと龍神の厄除開運のご利益にあやかっ、観音さまにお参りすることで今年一年、災難から逃れることができ、さらに運が開け、福が舞い込むといわれているのです。

初午のお参りの楽しみに、厄をねじりきるといって岩おこしの「ねじりおこし」や、厄をはじき去るといっておもちの「猿はじき」の縁起物もあります。午年の今年、例年以上にお参りの人々で賑わうことでしょう。

季節は地中の生きものが地上へ出てくるといって啓蟄を迎えます。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○「太鼓スクール」生徒募集

おかげ横丁の和太鼓チーム「神恩太鼓」のメンバーが「礼儀作法」「協調性」「リズム感」などを地域の子供たちに太鼓を通じて伝えていく太鼓スクールが開講いたしました。

初心者の方も大歓迎！！

少しでも太鼓に興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【太鼓スクール】

練習日／毎週火曜日

時間／16：00～16：45 未就学児3歳～小学6年生

場所／公益財団法人修養団伊勢青少年研修センター

講師／おかげ横丁 和太鼓チーム「神恩太鼓」

料金／月謝6,000円（税込）（月4回）初回体験無料

※別途 バチ購入費 2,200～2,500円（税込）

【神恩太鼓とは…】

神々の里、伊勢の地にて伊勢の風土をいっばいに感じながらおかげ横丁の基本精神である、今あることを神様に感謝する「神恩感謝」の精神を太鼓の音で表現しようと、土日祝日を中心に太鼓櫓で演奏しています。

お問合せ／0596-23-8827 おかげ横丁 神恩太鼓(担当：村上・恩田)

五十鈴塾

○文化六年熟年夫婦の伊勢参り 牧野勘四郎・きよ

日本各地には多くの「伊勢参宮道中記」が残っていて、私たちが当時の旅の様子などを知るうえで貴重な史料となっています。今回ご紹介するのは、文化六年（1809）三月、江戸深川の茅商人牧野勘四郎が妻きよとともに伊勢参りをした記録『牧野家文書二 道中記』です。一方、丸岡家には二人を迎えた記録「太々御神楽献立」が残っていて、この二つの史料を突き合わせて見ることで当時のお伊勢参りの様子を詳しく辿ってゆきます。

日 時／3月17日（火）13：30～15：00

講 師／丸岡 正之（NPO法人 旧御師丸岡宗大夫邸保存再生会議監事）

参加費／一般 1,500円 会員 1,000円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○五十鈴茶屋節気菓子

さわらび じょう よ
早 蕨 薯 蕷

早蕨は、万葉集に「萌え出づる春になりけるかも」と季節の便りにも詠まれています。よもぎ入りの薯蕷生地でこし餡を包み、春の色そのままに淡い緑で染めました。

さ ほ ひめ
佐 保 姫

奈良の郡から見て春を指す東方に位置する佐保山には、佐保姫という春の女神が宿っていました。粒餡を雪平と羊羹を重ねた生地で包み、姫君の衣に見立てました。

はる がすみ
春 霞

山々が霞む春の景色はどこか絵画を思わせませす。羊羹と浮島でその一面をかたどり、陽炎もかすかに立ち昇る春霞の景色に似せました。